

JIN TradeCamp

第1回

初期設定とトレード

目次

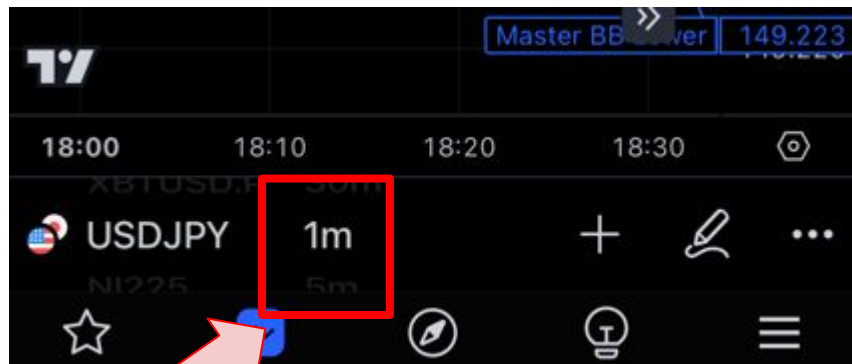
- 準備
- セッティングについて
- ボリンジャーバンドの理解
- フローチャートの復習
- フローチャートの応用
- 利確、損切(T/P、S/L)の設定
- 利確、損切(T/P、S/L)の設定基準

TV (Tradingview) & MT4/5を準備



セッティングについて

セッティングについて【ローソク足】



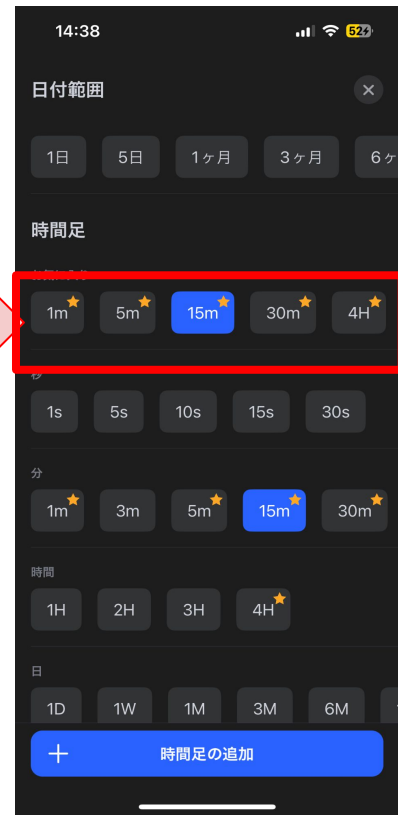
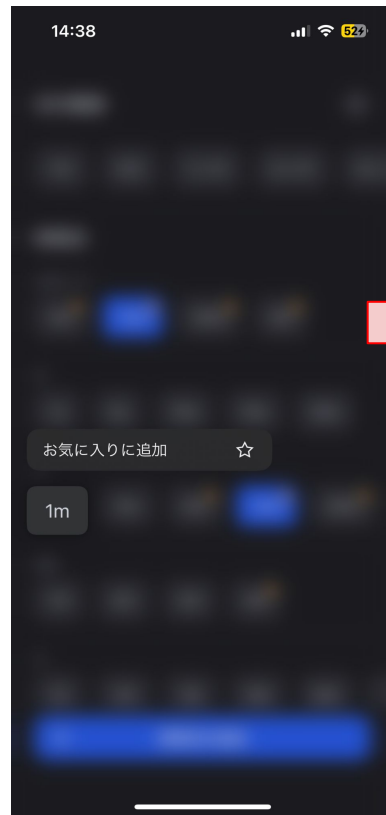
チャート画面の下部にある、通貨ペアの隣をタップすると、ローソクの時間足の選択が出来ます。



セッティングについて【ローソク足】

長押しすることで
お気に入り(★)に
追加できます。

1分、5分、15分、4時間
を追加してください



1分足だけでなく

5分、15分、30分、4時間

もお気に入りにしておく

ボリンジャーバンドを理解する

この値まで**上がる**かも。
と、想像できる

ボリンジャーバンド

149.404 +0.033 (+0.02%)

Master BB:Upper 149.935

149.851
01:19

移動平均線

Master BB:Lower 149.419

ボリンジャーバンド

この値まで**下がる**かも。
と、想像できる

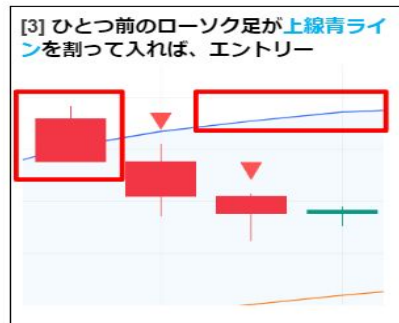
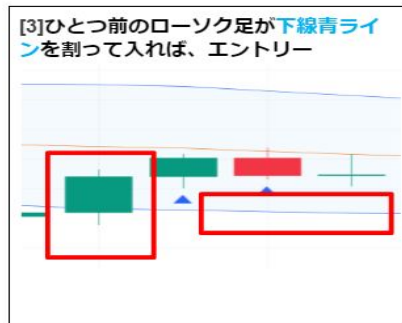
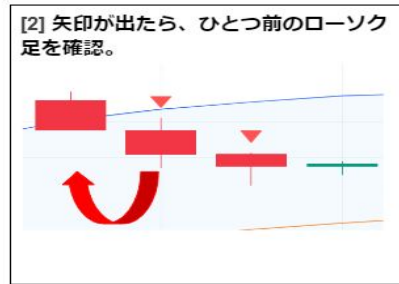
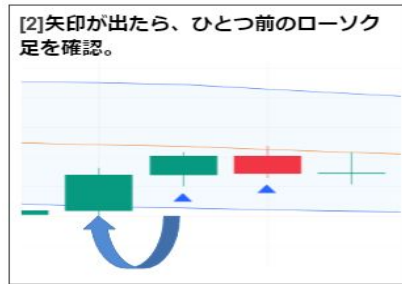
ボリンジャーバンドとは、**移動平均線**と標準偏差で構成されていて、**移動平均を表す線**とその上下に**値動きの幅を示す線**を加えた指標で、「価格の大半が**この帯(バンド)**の中に収まる」という統計学を応用したテクニカル指標です。

幅が広がったり狭くなったりを繰り返しているため、この動きにあわせて「順張り」「逆張り」それぞれの投資に利用することができます。

時間足を変更し

ボリンジャーバンドを確認

フローチャートの復習



エントリーするポイントを
しっかり覚えてください。

また、矢印が出る度にエントリーしていると、
証拠金が足りなくなる可能性があります。

はじめのうち、エントリーポジションは1つ
ずつ取るようにしてください。

▼ TradeManualリンク

<https://pckt-ch.com/TMB/>

フローチャートの応用

ボリンジャーバンドを確認する



フローチャートの応用

ボリンジャーバンドの間を行き来する。という特性を理解する

買いのエントリーシグナルが出て
エントリーしますが、
「何処で決済をすればいいのか分からない。」

その時は、ボリンジャーバンドの特性を理解することである程度の目測を立てることができる。



上下の青い線がボリンジャーバンド。 その間を行き来するので、

左の図で例えると、

「**149.460**辺りまで上がりそう。でも、それ以上はもしかしたら上がらないかも」

という目測ができるので、

149.300～149.400くらいになったら**決済**しよう。

と判断していくと分かりやすいです。



特性を理解すると都度、利益を得れます。

- ①「16:30ごろに**買い**のシグナル▲でエントリーしたとして、17:00ごろに**149.460**あたりで**上のボリンジャーバンドの線をを跨いで**何度か上のボリンジャーバンドに**触れている**」
- ②「上がりきったので、下がるかもしれないので決済」と判断します。
- ③更に**売り**の▼シグナルが出ているので**149.540**あたりで**売りでエントリー**すると。

売り買い両方で都度、利益を得ることができる。

後述しますが、その際に、T/P,S/Lを設定しておくともある程度安心ですね。

**ボリンジャーバンドを目安に決
済をするようにしよう**

フローチャートの応用

移動平均線を見る

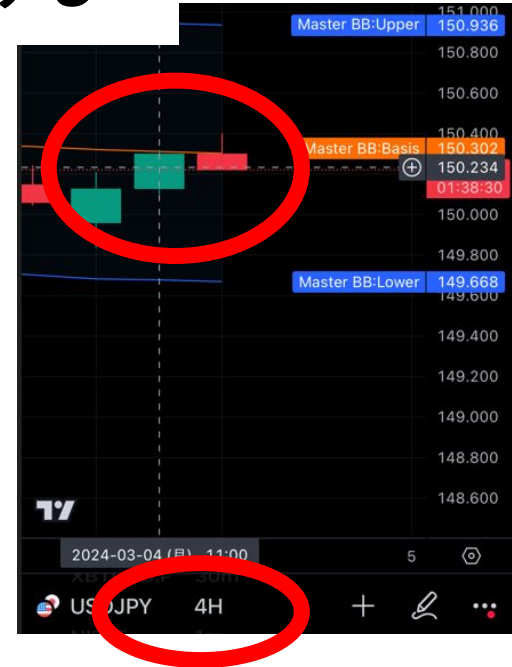
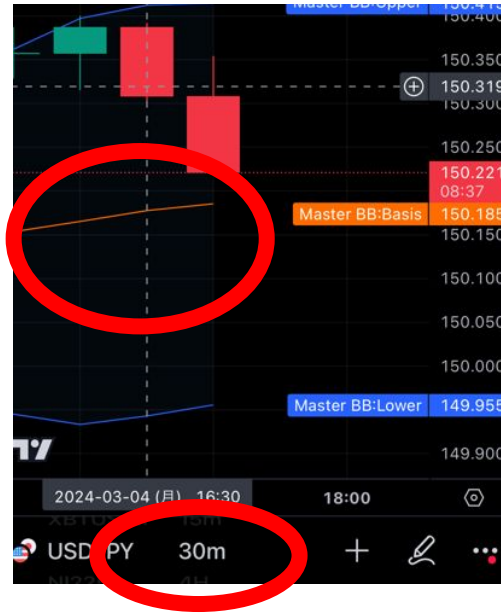
各時間の移動平均線を確認する



1分足(1m)で**買い**のシグナル▲がでてますが、**移動平均線**(ボリンジャーバンドのちょうど真ん中にあるオレンジの線)が右下に向かっている。

5分足(5m)でも右下に向かっている。ということは平均的にまだ**下がる気配**があるかも。と考える。

各時間の移動平均線を確認する



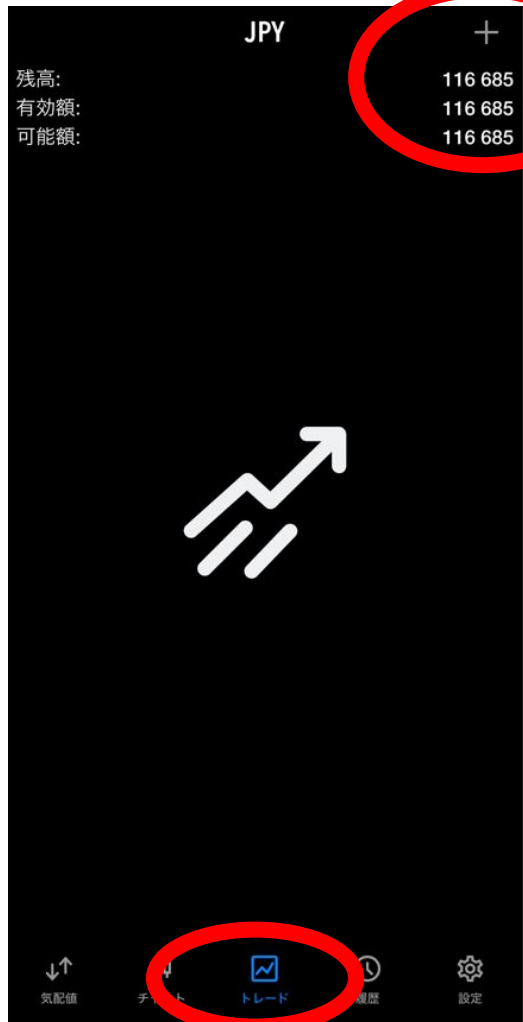
前ページと同じ時間帯の、15分足(15m)、30分足(30m)の**移動平均線**は右上に向かっている。ただ、ローソク足は下に向かっている。

4時間足(4H)でも右下に向かっている。

なので、「もう少し下に向かいそうだな。」という気配を感じれるようにしましょう。

**シグナル ▼ ▲ が出ても
移動平均線を必ずチェックする
そうすると勝率があがる。**

利確、損切 (T/P、S/L) の設定



MT4または5のアプリを起動して
ページ下部に並ぶアイコンから
「トレード」を選択すると左図の画面になる。

次に、右上の「十」のマークをタップする。

※**デモ口座**の作り方や**口座ログイン**のやり方に関しては別途**以下のマニュアル**をご覧ください

▶ **MT4/5 デモ口座開設方法**



通貨ペアが「USDJPY」

であることを確認し、

ロット(左図で0.10のところ)の値が適切かを確認する。

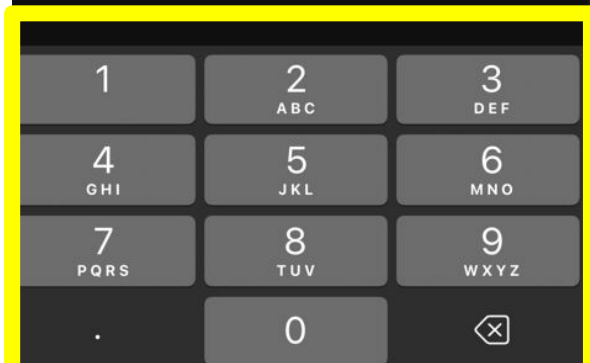
※ロットの説明は後述します。

ストップロス(損切)

テイクプロフィット(利益確定)

の値をそれぞれ入力する。

※それぞれ最初は空欄になっているがタップすることで現在価格が表示される。



ロットについての考え方

ロットは簡単に言うとトレード倍率です。
大きいほど証拠金を使い小さいほど証拠金を使いません。

この資料で説明すると長くなるので、
以下ondaのロットについての資料を確認下さい。

慣れていない方は、証券会社によって多少ちがうのですが、通常のスタンダード口座を使っている方は、ここでは、

10万円の証拠金であれば0.1ロットまでの設定。
1万円の証拠金であれば0.01ロットまでの設定。
にしてください。

[▶ロットについてondaから抜粋](#)

The screenshot shows a trading interface for USDJPY. At the top, it says 'USDJPY' and 'US Dollar vs Japanese Yen'. Below that, there's a dropdown menu for '成行注文'. The main part of the interface shows a row of lot size options: -0.5, -0.1, 0.10, +0.1, and +0.5. The '0.10' option is highlighted with a red box. Below this row, there are two rows of order types: 'ストップロス' (Stop Loss) and 'テイクプロフィット' (Take Profit). For 'ストップロス', the value is 147.045 with a red minus sign and a blue plus sign. For 'テイクプロフィット', the value is 147.045 with a red minus sign and a blue plus sign.

Order Type	Value	Sign
ストップロス	147.045	-
テイクプロフィット	147.045	-

買いエントリーしたい時の T/P、S/L設定値

	-0.5	-0.1	0.10	+0.1	+0.5
ストップロス	-		146.845		+
テイクプロフィット	-		147.195		+

約定形式 FOK注文 (全量約定または全量取消注文)

147.04⁵

147.10⁰

成行売り

成行買い

現在価格より**高い値が利益**になる。
なので、現在価格より
テイクプロフィットは
0.15円上げて設定
ストップロスは**0.2円下げて設定**

売りエントリーしたい時の T/P、S/L設定値

	-0.5	-0.1	0.10	+0.1	+0.5
ストップロス	-		147.245		+
テイクプロフィット	-		146.900		+

約定形式 FOK注文 (全量約定または全量取消注文)

147.04⁵

147.10⁰

成行売り

成行買い

現在価格より**低い値が利益**になる。
なので、現在価格より
テイクプロフィットは
0.15円下げて設定
ストップロスは**0.2円上げて設定**



◀復習もかねて解釈してみよう

ローソク足は、
ボリンジャーバンド
(上下青い線で囲まれた帯域)
の間を行き来すると予想できるので、その
範囲でテイクプロフィットを。
範囲外でストップロス。
と考えます。

ストップロスの感覚としては、ここまで下がることはないと思うけどここまでだったら損切しても痛くない。
と考えると設定しやすいです。

例)0.01ロットの時に0.2円負けても
200円の負けなので許容できる。

T/P S/L の

適正値を把握する

※T/P 0.15円 S/L 0.2円

まとめ

次回予告

3/12(火) 19時～

スキャルピングトレード

→指標の見方とFX市場OPENの話

★トレードキャンペーン開始

(3/12～3/27)